

評価委員会看護大学部会でのご意見等

1 指標についてのご意見

○ No. 2 志願倍率

実績は「概ね達成」だが、目標値の 4.3 倍は、外部環境を考慮すると長期的には厳しい状況なのではないかと考えている。(神代委員)

○ No. 6 著書件数～No. 8 学会報告件数

指標 No. 6～8 までが、いずれもやや遅れているという結果のため、b と評価した。ただ、中期計画の目標値が高過ぎるように思うため、今後の検討課題だと思われる。(菱沼委員)

○ No. 10 外部研究資金の申請数

科研費など複数年で採択されている場合は、申請しないことが多いと思う。実際に申請が可能な 20 名のうち 17 名が申請したとあるため、件数よりも申請率を評価する方が妥当ではないか。さらに、新規の採択率もみていく必要があると思われる。(菱沼委員)

外部資金申請件数は目標値を下回っているが、申請可能な研究の申請率は高水準である。法人の活動を適正に評価できるよう指標の設定を変えるべきではないか。(神代委員)

○ No. 14 自己収入比率

運営費交付金が下がれば自己収入比率は上がり、運営費交付金が下がるのは人件費の減少が大きく影響する。

自己収入比率の増加を求めると、長く働いた人材を外に出して、安い人材を入れる形を推し進めることとなり、大学がやせていく。(神代委員)

自己収入の増加については外部研究資金比率で評価をするべき。  
自己収入比率をみるのは益がない。(菱沼委員)

○ No. 5 県内就職率

他の大学に比べて目標値が高すぎるのではないか。(菱沼委員)

→県の総合計画(2024年度最終目標)59%に対し、第2期目標69%としているため上回っている。

## 2 中間評価結果で課題となった事項

### ○ 教育に関する目標

- ① 大学の志願倍率が令和3年度を除き目標を下回っている

目標設定が高すぎる可能性

(目標 4.3 倍 → 実績 R1:4.1 倍、R2:3.1 倍、R3:8.3 倍、R4:3.8 倍)

- ② 大学院の入学者数が募集定員を満たしていない

博士前期課程定員 15 人 → 実績 R1:8 人、R2:6 人、R3:6 人、R4:1 人

博士後期課程定員 15 人 → 実績 R1:2 人、R2:2 人、R3:1 人、R4:0 人

### ○ 研究に関する目標

- ③ 著作件数、論文件数、学会報告件数がほぼ毎年目標を下回っている

目標設定が高すぎる可能性

著作件数 目標 10 → 実績 R1:7、R2:6、R3:12、R4:7

論文件数 目標 72 → 実績 R1:57、R2:49、R3:43、R4:48

論文(査読)件数 目標 65 → 実績 R1:51、R2:42、R3:37、R4:40

学会報告件数 目標 123 → 実績 R1:121、R2:97、R3:70、R4:84

### ○ 地域貢献・国際化に関する目標

- ④ 包括交流協定締結先との交流や、相手校からの学生の受け入れについて検討するなど、国際交流活動への学生・教員の参画を促進されたい。

### ○ 財務内容の改善に関する目標

- ⑤ 外部研究資金比率は令和2年度以降目標に達していない。外部研究資金の獲得に向けて、着実に成果が上がるよう引き続き取り組まれない。